

今、PCは10年に一度の変革期

パソコン(PC)は、今、10年に一度の変革期を迎えている。私が最初にパソコンを買ったのは、約30年前の1992年にNEC社製のPC9801というノートPCでインテル社のマイコンi386(20MHz)が搭載されていた。それから毎年のように新機種が発売され買い換えてきた。1998年には日立製のPrius270というマイコンi430(150MHz)を購入している。演算スピードは7倍以上になっていた。2002年には、日立がパソコン事業から撤退していたから、DELL社のPentium(1.6GHz)搭載のノートPCを購入し、Windows-XPだった。演算スピードはさらに10倍近くになっていた。それから4,5年毎にグレードアップして買い換えてきた。今年になって買い換えたのは、HP社製の17.3インチの大型ディスプレイ付きノートPCで、インテル社の13世代Core i5(4.6GHz)を搭載している。(写真)

今、PCは10年に一度の変革期を迎えているというのは、次のようなことだ。

1. インテル社のマイコンが12世代で大幅に性能がアップして、普及型のCore i5は、これから10年以上は使える。
2. USB Type-C(従来はType-A)が標準になり、ノートPCは、よりコンパクトになった。
3. クラウド・ストレージ(外部記憶装置)の目的別の使い方が明確になってきた。

画像・ビデオやバックアップ用の外付け大容量記憶装置やDVDなどが不要になってきている。クラウドが多くのユーザに安価で利用され、信頼されるようになってきたからだ。クラウドの利用例として、私は次のように使い分けている。

- ・OneDrive: Windows Office、画像や音楽など個人用のファイル記録
- ・Dropbox: 会社、団体での共同利用のファイル記憶媒体
- ・ iCloud/ Google Cloud: スマホの画像・ビデオデータの記録
- ・ Google YouTube Music: 音楽ライブラリー(Prime契約をすると広告が入らない)
- ・ Amazon Prime Video: 映画・TV番組

各々のIDとパスワードを持っていればWebメールと同様に複数台のPCやタブレット、スマホあるいは外出先のPCで共有して利用できる。共有・共用の方法は別途解説したい。

